

東松山市自治会連合会 自治会だより



第13号
令和2年10月1日発行

あいさつ

東松山市自治会連合会 会長 荻野 紘

皆様には、日頃より東松山市自治会連合会の諸活動に対し、ご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。「新型コロナの感染」が依然続く中、自治会活動に大変ご苦勞をなされております自治会関係各位に、心からお礼お見舞い申し上げます。

令和2年度、当連合会が計画した事業の実施状況ですが、新型コロナの影響を考慮し「安全・安心」を最優先に考え、残念なことではあります。多くの事業を書面方式、中止もしくは延期とさせていただいているところです。

例年、各自治会行事の中で最も重要である「総会」開催の対応につきましても、2月の「市の対応方針」を重く受け止め、市内7支部121自治会に対し3月に「書面表決」の参考書式を配送・配信し、書面総会開催の拡がりという形で感染拡大防止に努めてまいりました。また「緊急事態宣言の解除」後の自治会活動再開による感染予防の観点から「アルコール消毒液」を配布させていただきました。

コロナ禍の中、東松山市に甚大な被害をもたらした今年の台風19号のような自然災害の重なる「複合災害」が起こらないようにと願う日々です。



あいさつ

東松山市長 森田 光一

東松山市自治会連合会の皆様には、日頃から市政推進にご協力いただいておりますこと、また、新型コロナウイルス感染症の拡大により数々の制約がある中、地域コミュニティの醸成にご尽力いただいておりますことに対し、深く敬意を表すると共に、厚くお礼申し上げます。

さて、今年の令和元年東日本台風は、市内に甚大な被害をもたらしましたが、復旧・復興に関し、発災直後より多大なるご支援をいただいておりますことに対し、改めて心より感謝申し上げます。

今般の災害に伴う経験から、地域で共に助け合うことの大切さを私たちは改めて学びました。市では、このことを教訓として危機管理体制の更なる充実を図ると共に、自主防災組織の支援等により地域防災力の向上に取り組んでまいります。

自治会活動はまちづくりの根幹です。今後も全ての市民が元気で希望を持ち、心豊かに暮らせる「9万市民総活躍」のまちづくりを全力で進めてまいりますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



【松山地区】

「松山地区の取り組み」

松山支部長 荻野 紘



日頃、皆様には自治会の活動に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

松山地区は、地域コミュニティの活性化を図るためハートピア事業を花つくり環境部会、健康ウォーキング部会、文化情報部会、松山ふるさと部会の4つの専門部会で実施しております。

本年は新型コロナウイルス感染の広がりを抑止するため、自治会の役員会や総会が書面議決での実施となりました。

緊急事態宣言解除後も新型コロナウイルス感染症の収束が見えないことから、7月の早朝ラジオ体操指導者講習会、10月予定していた市民体育祭いずれも誠に残念なことではありますが、中止とさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症は、私たちの今までの生活の在り方を全て変えてしまう劇的な変化をもたらしました。コロナ禍では、人との距離感が今までと全く反対になってしまいました。現在では「距離を置く」ことは、相手のことを思いやってソーシャルディスタンス（社会的距離）を取り、相手を守る行動であり、以前とは全く反対の意味になっています。自治会活動は人と人とのつながりがいかに大きいかを、実感した年となりました。



東松山ステーションビル

今年は、このように新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどの事業が中止となってしまいう未曾有の事態ではありますが、引き続き地域内における多種多様の課題解消に努め、より活気ある地域となるよう努めてまいります。

皆様には、今後とも自治会活動にご理解いただき、みんなで支え合う地域づくりにご支援、ご協力をお願い申し上げます。

【大岡地区】

「花と緑豊かな大岡地区」

大岡支部長 清水 通



恵まれた自然環境の中で子ども達が笑顔であいさつを交わし、お年寄り達は、生き生きと暮らし、若者達は元気に地域活動に取り組んでいます。少子化、高齢化が課題ではあるものの活気に満ちた地域です。

今年は、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、大岡花まつり、納涼盆踊り大会、市民体育祭など多くの地域行事が開催できなかったことが大変残念でした。一日も早く地域コミュニティの輪が広がる日が来ることを望みたいところです。

東松山ぼたん園や昨年8月にオープンした農林公園には近隣地域からも多くの方が訪れていただいております。大岡小学校と活動センターが中心になって作品展示や交流活動を積極的に展開しています。



センターに咲くチューリップと大岡小

大岡地区のシンボルである「風車の見える丘」の手入れや「新屋敷ホテルの里」の環境整備など多くのボランティアのみなさんが明るい地域づくりのために活躍しています。

これからも地域の特性を生かしつつ「住んで良かった明るい大岡」を実現するために皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【唐子地区】

「唐子の歴史と自治会活動」

唐子支部長 市川 常雄



東松山市唐子地区の前身である「唐子村」は、上唐子村、下唐子村、神戸村、葛袋村、石橋村、岩殿村の一部が明治22年に町村制施行により誕生しました。その後、昭和29年の合併により東松山市の一部として存在しています。合併当時の人口は、5,451人（1950年当時）とされています。その後は先人達のご努力で、農業・工業・商業がバランス良く開拓され、現在の人口は、9,189人（本年7月1日現在。外国人含む）を擁しています。

唐子地区の自治会は、10自治会（14行政区）が地区ごとの活動と、各地区の区長により「唐子地区区長会」を構成し「ハートピアまちづくり協議会」等の各種団体に協力いただき、唐子地区の事業が展開されています。しかしながら、昨年度の台風19号による災害復旧が続くさなか、新たな問題として新型コロナウイルス感染拡大により、計画されている事業を中止せざるを得ない事態となり、地域コミュニティが弱まる恐れがあります。このことから、各自治会ごとに、自粛中ながら、花いっぱい事業などを安全に配慮しつつ活動しているところです。



センターに咲くゴデチア

また、当地区は、都幾川があり「くらかけ清流の郷」も整備され、穏やかな時は、心の癒しを求めて市民や市外の皆さんが集います。一方、水害の危険性も秘めていることから、防災にも配慮する必要があります。国や埼玉県による治水対策は、万全を期していただきますが、命と財産を守るために、自主防災の活動も常に意識してまいります。

【高坂地区】

「高坂の復旧状況」

高坂支部長 松坂 文生



高坂地区は明治22年、町村合併により高坂・早俣・正代・宮鼻・毛塚・田木・西本宿・岩殿の八つの村が合併して新村名を一番大きい村の名をとり高坂村とし旧村名は大字名になりました。昭和29年より現在の市制を施行するようになりました。現在、総世帯数3,215世帯、25の自治会が組織されています。

昨年10月の台風19号により都幾川・九十九川の堤防決壊の為、早俣・正代・大黒部・毛塚・川辺・下田木・あずま町地区が大きな被害を受けてしまいました。いまだ復興過程の世帯もあり一日も早く平穏な日々を取り戻すことができますよう心よりお祈り申し上げます。



都幾川右岸早俣地先復旧工事状況(R2.8.28)

今年に入り堤防の復旧工事も急ピッチに行われており9月中旬には決壊箇所の工事も完了となりますが、なお、軟弱且つ貧弱な堤防箇所もあり早急な補強工事が望まれます。国土交通省の計画によりますと今後の水害防止対策とし正代グラウンド周辺一帯の遊水地計画が浮上しております。新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況ですが、地域の皆様が安心・安全に暮らせるよう各自治会の皆様と一体となり協力し取り組んでまいりたいと思います。

【野本地区】

「野本の伝統ある祭り」

野本支部長 富樫 正紀



自治会内における地域コミュニティの推進の一つに“伝統のお祭り”があります。野本地区には23自治会があり、鎮守様と祀られ、崇敬されている神社が11社、「五穀豊穡」「無病息災」「家内安全」などを願い、神社の祭典に合わせて行っています。

その中で、市無形民俗文化財に指定されている二団体を紹介します。

一つは、私の地元である「上野本の獅子舞」です。自治会としては「向山・上野本第一・上野本第二」の3地区で実施しており、八幡神社の秋祭りに豊作への期待と喜びを込めて行われます。江戸時代から続く行事で戦後一時中断しましたが、昭和49年に保存会を結成・復活し、毎年10月15日に近い日曜日に奉納されます。



金谷の餅つき踊り

次に、県無形民俗文化財にも指定されている「金谷の餅つき踊り」です。自治会としては「金谷・北金谷・谷中」の3地区で実施しており、氷川神社の秋の祭典に奉納されます。昔、岩殿山に住む悪竜を退治した坂上田村麻呂に感謝して、喜びのあまり踊りながら餅をついてもてなしたのが始まりです。一時後継者不足により途絶えておりましたが、平成30年に8年ぶりに見事復活しました。毎年11月23日が開催日となります。

【平野地区】

「歴史ある梨の里と良好な住環境が 調和する住みやすい町」

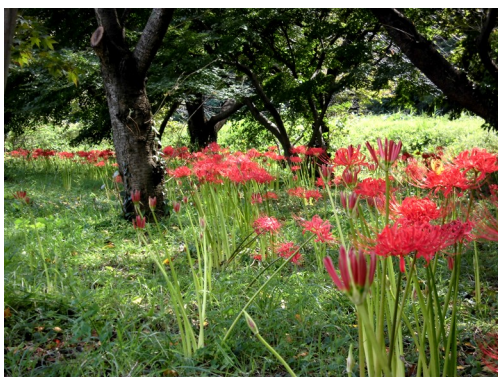
平野支部長 古澤 勝正



今年はほとんどの行事が中止になり、しばらく各自治会の隣組長会議は開催できない状況ではないでしょうか？ しかし、これを機会に「知恵」を絞り隣組長会議を減らし、会員の負担を減らせれば、自治会員の退会防止につながるのではないかと、「新型コロナ禍」で考えさせられました。

平野地区は、市の北部地域に位置し、東側は土地区画整理事業によって整備された大規模な住宅団地があり、良好な住環境が形成されています。中央部には、歴史ある市の特産「梨」を栽培する果樹園があり、西側には住宅や農地が広がっています。北側は、長閑さが残る住みやすい地域ですが、お店が少なく買物が不便でした。しかし、昨年10月食品スーパーが開店し、大変便利になりました。

取組としては、花いっぱいに関する事業で種まき講習会、花いっぱいコンクール（写真審査のみ）、花・歩・梨（かほり）プロジェクト、滑川沿いに彼岸花を植え保護育成し「花があふれるまちづくり」と「子どもの見守り活動」に努めております。



滑川沿いの彼岸花

上記取組以外、例年の活動はほとんど中止になっております。時代は、まさに「新型コロナ禍」で歴史的な転換点を迎えています。これを機会に地域活動についても見直すきっかけにしたいと思います。今年は、皆様ご自身の健康と安全を最優先にさせていただき、みんなで支え合える地域づくりにご支援、ご協力をお願い申し上げます。

【高坂丘陵地区】

「高坂丘陵地区の活動」

高坂丘陵支部長 黒田 保秀



高坂丘陵地区においても自治会総会、支部総会等が新型コロナウイルス対応のため書面議決となり、戸惑いながらも、各自治会長をはじめ皆様のご理解により、何とか新しい体制をスタートすることができました。

今年度は夏祭りをはじめ、ほとんどの行事・事業が中止となり、寂しい状況となりました。今後、支部の夏祭り、体育祭実行委員会は来年度へ向けて



防災訓練の様子

の事業計画立案等が主な活動となりますが、防災・防犯委員会はこの状況下でも災害に対する意識向上のため防災訓練を計画しています。過去に経験のない気候や地震災害が発生した場合、自助・共助がまずは大切であるという観点と、また高齢化が進む高坂丘陵地区においては、人と人の繋がりを大切にする意味合いからも、一致協力して行動するために、防災訓練は、顔を合わせる良い機会だと思います。

各自治会でもそれぞれの課題を抱えながらの活動となりますので、引き続き皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

自治会連合会の役員が 決まりました

令和2年度の東松山市自治会連合会の役員については、次のとおりです。

会長	荻野 紘	(松山支部長)
副会長	清水 通	(大岡支部長)
副会長	市川 常雄	(唐子支部長)
監事	松坂 文生	(高坂支部長)
監事	富樫 正紀	(野本支部長)
幹事	古澤 勝正	(平野支部長)
会計	黒田 保秀	(高坂丘陵支部長)

地域の皆様とともに、住みやすいまちづくりに力を注いでまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



地域を「きちんと」見せる取組が 防犯につながります

犯罪者は、ゴミ出しの決まりが守られていない地域、落書きや放置自転車の多い地域などを狙うと言われています。生活上のルールが守られていない地域は、住民同士の連携が弱い、すきの多い地域とみられるからです。

こうした心理を逆にとり、次に挙げるような地域ぐるみで「きちんと」見せる取組をすることで、犯罪者を寄せつけない地域をつくることができます。

- 清掃活動
- 除草、樹木のせん定
- 花いっぱい運動
- 子ども見守り活動
- 公道への違法駐車防止



ご近所づきあいを大切に、防犯の輪を広げていきましょう。

ゴミ出しの工夫でカラス撃退！！

カラスはエサを探るとき、ゴミの臭いではなく、視覚で食べ物を確認して寄ってくるといわれています。ゴミの出し方を、少しでも気をつけるだけで、対策ができます。

○生ゴミを極力減らしてください

- ・買いすぎ、作りすぎを抑えて、エサとなる生ゴミを減らすよう心掛けてください。

○出し方にひと工夫してください

- ・生ゴミが見えたり、匂いがすると、カラスはやってきます。
- ・水をよく切り、新聞紙等で覆うよう心掛けてください。
- ・ネットは、完全に覆う形で掛けてください。



○ゴミ出しの時間をひと工夫してください

- ・朝のあまり早い時間に生ゴミを持ち出すことは、控えてください。
- ・前日のゴミ集積所への持ち込みは、もちろん厳禁です。

クリーンステーションのカラス対策は、ゴミを出す方の一人ひとりのご理解とご協力が何よりも大切です。ご協力をお願いします。

男女共同参画でいきいき地域活動

男性と女性が、職場・学校・地域・家庭で、それぞれの個性と能力を發揮できるような社会づくりが大切です。

男女共同参画を身近な問題とし、自分事として捉えるために、例えば家庭内で家事の役割分担をしたり、地域で男女共同参画の視点から防災について話し合ったりする時間を設けるのもよいかもしれません。

内閣府 令和2年度キャッチフレーズ

「そっか。いい人生は、
いい時間の使い方なんだ。」

自治会活動にぜひ参加しませんか

誰もが安心・安全に暮らせるまち。そのための身近な組織として、ご近所のつながりでできたのが自治会・町内会です。

いざというときは、ご近所の人たちとの助け合いがとても大切です。日頃からお付き合いを深めることにより、困った時にお互いが助け合うことが出来ます。ぜひ、同じ地域に暮らすご縁を大切に、支え合いの輪をひろげてみませんか。

自治会活動は、幅広い年齢の方と接することができ、仲間づくりの場としても最適です。

編集後記

当たり前だったことができなくなって、はじめて日常のありがたさに気がきました。まだ、新型コロナウイルスの収束には時間がかかりそうです。今だからこそ、できることをコツコツやっていきたいです。

発行：東松山市自治会連合会
会長 荻野 紘

問合せ 東松山市役所 地域支援課
東松山市松葉町1丁目1番58号

電話：0493(21)1435(直通)

FAX: 0493(23)2236